

第 57 回 近畿数学教育学会例会プログラム

日時：平成 27 年 2 月 28 日（土）

会場：和歌山大学 教育学部

受付 9:30~10:00

【発表 20 分、質疑 10 分】

10:00~10:30

A 1. 高校教育における数学的文化化についての研究(Ⅲ)
: 「万民のための数学」の同定と教育実践例の検討
広島大学 大学院生 中西 隆

10:00~10:30

B 1. 内容としての数学的活動に関する一考察
: 主体性と Mathematical Action に着目して
兵庫教育大学 大学院生 沼田 真依

10:35~11:05

A 2. 平均値の理解を深めるための学習指導に関する研究
: 児童・生徒へのアンケート調査結果を踏まえて
兵庫教育大学 大学院生 川嶋 輝美

10:35~11:05

B 2. 数学研究の手法に基づく数学的活動の授業実践例
: "Harary の一般化マルバツ" を題材として
京都大学 大学院生 大倉 健吾

11:10~11:40

A 3. D.Tall の数学三世界論による計算多角形
(Arithmogon) の記述
大阪教育大学 大学院生 古閑丸 斉良

11:10~11:40

B 3. 文章題におけるオブジェクト指向の利用についての一考察
神戸大学 大学院生 王 敏

昼休憩

11:40~12:50

ポスター発表

12:50~13:20

- A) 片岡 啓(和歌山大学)「佐藤良一郎と鍋島信太郎の教育実習録」
B) 平井 崇晴(甲南大学)「トリックは数学です(2)」
C) 篠原 雅史・長谷川武博・渡邊 慶子・高澤 茂樹・神 直人(滋賀大学)
「教員養成課程における「算数科内容学」に関する研究 ―「分数の授業」の事後議論を中心に―」

13:25~13:55

A 4. 算数科における問題づくりの効果についての考察
: 「不備な問題」を修正する活動を中心に

滋賀大学 大学院生 木里 聡

14:00~14:30

A 5. 角錐体の体積に関する理論的及び実践的考察

三重大学 大学院生 中村亮太

14:35~15:05

A 6. 日常現象の図形モデル表現を目指した教材開発
: その 4 太陽の軌道と日影曲線を用いた数学的モデリングの一教材例

京都府立洛北高等学校附属中学校 笠沙 敏彦
京都市立紫野高等学校 紀平 武宏
岐阜大学 河崎 哲嗣

15:05~15:15 休 憩

15:15~15:45

A 7. 数学教師を志望する大学生の有する数学的帰納法に関する困難性
: Mariotti らの「数学的定理」を視点として

大阪教育大学 真野 祐輔

15:50~16:20

A 8. 数学的モデリングによるイノベーション教育に関する研究
: 「ソファ問題」を通して顕在した関数教育及び図形教育の課題と提案

岐阜大学 河崎 哲嗣
海陽中等教育学校 黄瀬 正敏
大阪大学 前迫 孝憲
大阪大学 西森 年寿
立命館宇治高等学校 稲葉 芳成

16:25~16:55

A 9. 教員養成課程における「算数科内容学」に関する基礎的研究
: 分数の授業を中心に

滋賀大学 渡邊 慶子
滋賀大学 神 直人
滋賀大学 高澤 茂樹
滋賀大学 篠原 雅史
滋賀大学 長谷川武博

閉会行事 16:55~17:00